

## Quick Start Guide



# CT200

Microprocessor-Controlled 8-in-1 Cable Tester

JP

JP 安全にお使いいただくために



**注意**  
感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**  
火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、

装置の上には置かないようにしてください。

**注意**  
このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**  
取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全

のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



に操作できるよう手元に設置して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐ

13. 付属品は本機製造元が指定したのみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、プラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまっ

た場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

JP

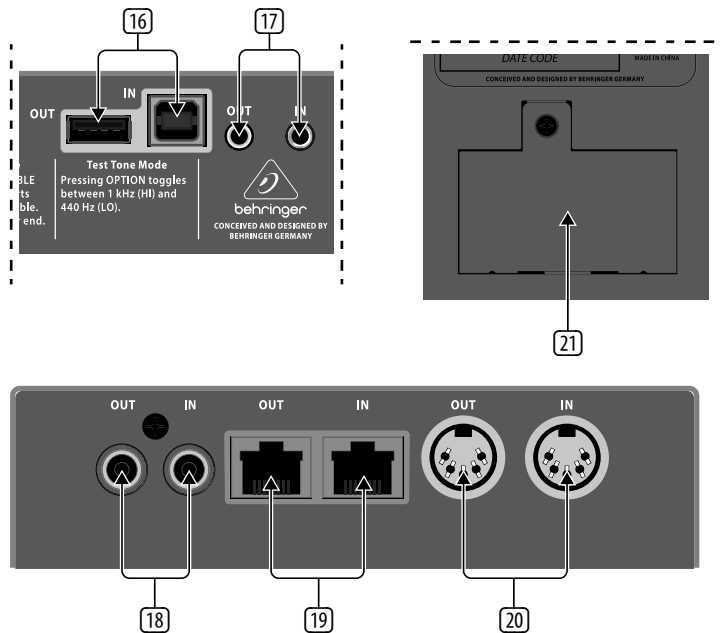
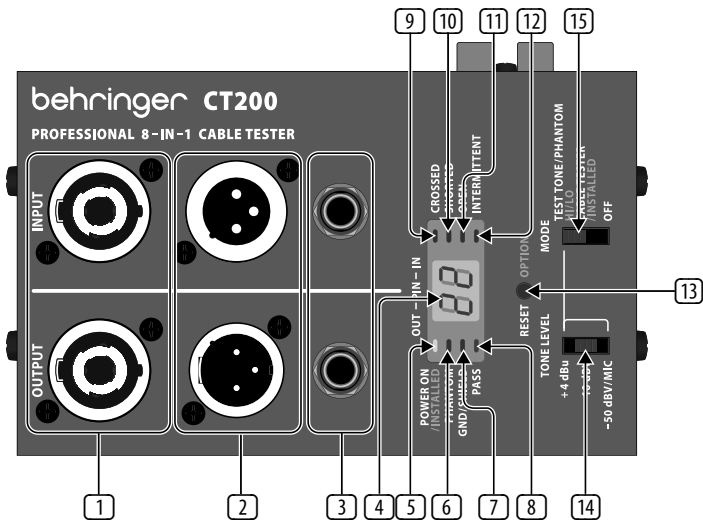
## 法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、DDA および TC Applied Technologies は MUSIC Group IP LTD. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP LTD. 2015 無断転用禁止。

## 限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 [music-group.com/warranty](http://music-group.com/warranty) にて詳細をご確認ください。

# CT200 コントロール



# CT200 コントロール

## ステップ 1: コントロール

- ① 業務用ロッキングコネクタ (Neutrik Speakon 互換) 2 芯または 4 芯ケーブルを接続します。
- ② **XLR** オスまたはメスコネクタ XLR バランスケーブルを接続します。
- ③ ¼ インチ **TRS/TS** コネクタ ¼ インチ バランスまたはアンバランス・ケーブルを接続します。
- ④ ディスプレイ アクティブになっているモードに応じて、ピンの接続状態に関する情報を表示します。
- ⑤ **POWER ON/INSTALLED** (電源オン / インストールド (LED ユニットの電源オン時には継続点灯し、インストールド・ケーブルテスター・モード選択時には点滅します)。
- ⑥ **PHANTOM** (ファンタム) LED テストトーン / ファンタムモード時、XLR ピン 2 または 3 に 9V 以上の電圧を検知すると点灯します。
- ⑦ **GND/SHIELD LED** (接地 / シールド LED) XLR 出力ソケットの接地プラグと、XLR ケーブルの接地ピンが接続されている時および、MIDI、CAT-5 または USB ケーブルの両端にシールドが接続されている時に点灯します。
- ⑧ **PASS LED** (パス LED) 出力コネクタのピンが、対応する入力コネクタのピンにすべて接続されている時に点灯します。

- ⑨ **CROSSED** (クロスト) LED 出力ピンが入力ピンにクロスワイヤーされた時に点灯します。クロスしているピン番号がディスプレイに表示されます。
- ⑩ **SHORTED** (短絡) LED 2 つのピンの中で短絡が検知された時に点灯します。
- ⑪ **OPEN** (オープン) LED ケーブルの一端のピンが検知されない時に点灯します。
- ⑫ **INTERMITTENT** (インターミッテント) LED オート、マニュアルまたはインストールド・ケーブルテスター・モードで、接続の緩みなどにより、断続的にピンの中断が生じていると点灯します。リセット / オプション・ボタンを押してリセットし、再度テストします。
- ⑬ **RESET/OPTION** (リセット / オプション) ボタン 有効にするモードに応じて、機能がかわります。詳しくはオペレーションモードの項をご覧ください。
- ⑭ **TONE LEVEL** (トーンレベル) スイッチ テストトーン・モードで、+4 dBu、-10 dBV、および -50 dBV/MIC 出力レベルのいずれかを選択します。
- ⑮ **MODE** (モード) スイッチ ケーブルテスター・モード (初期状態ではオート)、テストトーン / ファンタム・モード、および電源オフのいずれかを選択します。
- ⑯ **USB** タイプ A および B コネクタ 標準 USB ケーブルを接続します。
- ⑰ ⅜ インチ **TRS/TS** コネクタ ⅜ インチ バランスおよびアンバランス・ケーブルを接続します。
- ⑱ **RCA** コネクタ RCA アンバランス・ケーブルを接続します。
- ⑲ **RJ45** コネクタ Ethernet / CAT5 ケーブルを接続する端子です。
- ⑳ **MIDI** コネクタ 標準 5 ピン DIN ケーブルを接続します。
- ㉑ ユニットの電源として、単三電池を 2 個装填します。

## CT200 オペレーションモード

### ステップ 2: オペレーションモード

#### Cable Tester (ケーブルテスターオート)

自動ケーブルテストを開始するには、モード (MODE) スイッチをケーブルテスター (CABLE TESTER) にしてください。スイッチの初期設定はオート・モードです。ケーブルを入力および出力に接続します。リセット / オプション・ボタンを押すと、自動テストを開始します。すべてのピンが適切に接続されているとパス (PASS) LED が点灯し、最大ピン数がディスプレイに表示されます。接続の不良を感知すると、ディスプレイ上で機能不全のピン番号が点滅し、該当する LED (短絡、クロス、ほか) が点灯します。それから接触不良を調べるためにケーブルを振ります。接触不良ある場合はインターミittent (INTERMITTENT) LED が点灯します。

#### Cable Tester (ケーブルテスターマニュアル)

手動によるケーブルテストを開始するには、モード (MODE) スイッチの位置を “CABLE TESTER” にし、2 秒間リセット / オプション・ボタンを押します。マニュアル・モードが選択されると、ディスプレイが 2 回点滅します。このモードはオート・モードと同様ですが、オートでは複数の問題があった場合、画面上で同時に複数のピン番号が点滅しません。比較してマニュアルでは、テストの各ステップを、手動で 1 つずつおこなうことができます。点灯する LED をリセットするには Reset/Option を押します。リセット / オプション・ボタンを再度押し、すべてのピンの接続をチェックします。問題が検知され

ると、ディスプレイ上で、最初の機能不全のピン番号のみが点滅します。リセット / オプション・ボタンをもう一度押し、その他の問題のチェックへと進みます。

#### Installed Cable Tester (インストールド・ケーブル・テスター)

機器が固定設置されている環境下では、CT200 にケーブル両端を同時接続することが困難な場合が想定されます。そのような場合は、インストールド・ケーブル・テスターの使用により、ケーブルの一方の端のみでも短絡のチェックが可能です。チェックするケーブルは、そのほかの機器から外してください。

リセット / オプション (RESET/OPTION) ボタンを長押しし、モード・スイッチの位置を “CABLE TESTER” に合わせます。その後リセット / オプション・ボタンから指を離します。インストールド・モードが有効になり、電源オン / インストールド (POWER ON/INSTALLED) LED が点滅します。CT200 の適切な出力ジャックにケーブルの一方の端を接続します。ケーブルのもう一方の端へ短絡ジャック (短絡ピンを使用している) を取りつけるか、またはワイヤーを使って手作業でケーブルをショートさせます。短絡 (SHORTED) LED に表示されます。LED が点灯しない場合、信号経路に遮断箇所があり、ケーブルには欠陥があります。

#### Test Tone / Phantom (テストトーン / ファンタム)

CT200 では、接続したケーブルにテストトーンを送ることで、機能が正常かどうかチェックできます。モード・スイッチをテストトーン / ファンタム (TEST TONE/PHANTOM) に合わせます。適切な出力ジャックにオーディオケーブルを接続したあと (Speakon, XLR, ¼ インチ, ⅛ インチ, RCA)、ケーブルのもう一端をミキサまたはスピーカーの入力端子に接続します。トーンレベル (TONE LEVEL) スイッチで適切な出力レベルを選択し、リセット / オプション・ボタンを押して、トーン周波数を選択します。画面に LO または HI と表示されます。ケーブルが正しく機能していれば、信号は目的地に到達します。

## CT200 オペレーションモード

### ステップ 2: オペレーションモード

注意 – MIDI, RJ45, もしくは USB ソケットでは、この機能はお使いいただけません。

CT200 は XLR ケーブル上のファンタム電力もテスト可能です。上述の要領でテストトーン / ファンタム ・モードに入った後、XLR ケーブルを CT200 の XLR 出力ジャックと、ミキサーまたはプリアンプの入力端子に接続します。ソースとなる機器のファンタム電源を入れます。XL ピン 2 および 3 の間で 9V 以上のファンタム電力を感知すると、LED が点灯します。

# CT200 Pin Description Chart

## EN Step 3: Pin Description Chart

Connector	Pin Description	Display Pin Number
Speakon 2-pin (1-/1+ only) Speakon 4-pin	1- (Ground / Ch. 1)	1
	1+ (Life / Ch. 1)	2
	2- (Ground / Ch. 2)	3
	2+ (Life / Ch. 2)	4
XLR	1 (Ground / Shield)	1
	2 (Hot / +)	2
	3 (Cold / -)	3
¼" and ⅜" TRS	Sleeve (Ground / Shield)	1
	Tip (Hot / +)	2
	Ring (Cold / -)	3
¼" and ⅜" TS	Sleeve (Ground / Shield)	1
	Tip (Hot / +)	2
RCA (Cinch)	Sleeve (Ground / Shield)	1
	Tip (Hot / +)	2
MIDI (DIN)	1 (Unused)	1
	2 (Ground / Shield)	2
	3 (Unused)	3
	4 (Data +)	4
	5 (Data -)	5

Connector	Pin Description	Display Pin Number
USB type A and B	1 (+5 Volts)	1
	2 (Data -)	2
	3 (Data +)	3
	4 (Ground / Shield)	4
RJ45 (CAT5)*	1 (White / Orange, Transmit +)	1
	2 (Orange, Transmit -)	2
	3 (White / Green, Receive +)	3
	4 (Blue, Unused)	4
	5 (White / Blue, Unused)	5
	6 (Green, Receive -)	6
	7 (White / Brown, Unused)	7
	8 (Brown, Unused)	8

\*CAT5 pin color code and wire assignments may differ depending on the network cable used.



## Examples

Mode	Connection	LED / Display
Cable Tester (Auto/Manual)	¼" TRS cable --> ¼" Input / Output jacks	<b>PASS:</b> Display = 3 3 <b>CROSSED:</b> Display = 1 2 < > 2 1 < > 1 2... <b>SHORTED:</b> Display = 2 3 < > 3 2 < > 2 3... <b>OPEN:</b> Display = 3 3 ... 3 3 ... 3 3 ...
Installed Cable Tester	XLR Out jack --> XLR cable --> manually shorted pins	Pin 1 + 3 = SHORTED LED on Pin 1 + 2 = SHORTED LED off Pin 2 + 3 = SHORTED LED off Pin 2 = defective
Phantom	XLR Out --> XLR cable --> mixer input	PHANTOM LED on = >9V detected

## その他の重要な情報

### JP その他の重要な情報

**1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:** ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230Vと120Vの2つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

**2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くになく、または、behringer.comの“Support”内に列記されている、お客様の

国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の“Support”内にある“Online Support”でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.comで、オンラインの保証請求を要請してください。

**3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You

[behringer.com](http://behringer.com)

